

浜田市立第一中学校 第二学年 国語科学習指導案

日 時：平成26年11月6日（木）5校時

指導者：沖田 哲也

1. 単元名 説得力のある説明文を選ぼう ～二つの説明文を比べ読み、効果的な表現や論理展開について考える～

2. 単元のねらい

- ・二つの説明文を読み、効果的な表現や論理展開について考えようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- ・説明文の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。 【読む能力】
- ・漢字や語句、文章の構成に注意して読むことができる。 【言語についての知識・理解・技能】

3. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
二つの説明文を読み、効果的な表現や論理展開について考えようとする。	説明文の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめている。(ウ)	漢字や語句、文章の構成に注意して読んでいる。 (1)イ(ウ)

4. 単元を貫く言語活動とその特徴

『二つの説明文を比べ読み、効果的な表現や論理展開について考える』という言語活動を、単元を貫く課題解決的活動として位置付ける。「中学一年生に『自然と共生することが大切だ』という内容を伝えるのに最適な教材はどちらか」というテーマで内容の似ている二つの説明文を四つの視点から吟味して読み比べる。二つの説明文を比較し、班ごとに四つの視点から分析し、パネルディスカッションを通して伝え合う。他者の考えを聞き取り、自分の考えをもつことで指導事項「ウ文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。」を指導する。

5. 単元について (※生徒観は省略)

- 本単元の「モアイは語る-地球の未来」は根拠となる事実を見いだした手順、その事実が物語っていたもの、現在に投げかけている問題を分かりやすい文章構成で述べたものである。生徒が工夫された表現に対しても興味関心をもつことが予想され、指導事項「ウ文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。」を指導するのに適している。学習指導要領の第二学年「C 読むこと」における「イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」という言語活動例を踏まえて「イースター島での出来事をもとに、筆者が何を主張しているのかを読み取ること」「根拠となる事実を確かめながら、文章の構成や表現の仕方をとらえること」について指導できる最適の教材であると考え。

本単元では補助教材「イースター島にはなぜ森林がないのか」と比較させたいと考えている。評論文を読む上で事実と意見を読み分ける学習は既に何度も行っている言語活動である。加えて「イースター島にはなぜ森林がないのか」という教材は生徒が小学校6年生のときに既に学習しているものでもある。二つの説明文の主張には自然との共生の大切さを訴えるという共通点もあるため、「モアイは語る-地球の未来」と「イースター島にはなぜ森林がないのか」を比較させることで効果的な表現や論理展開の違いを理解させることができると考える。また、その違いがどのように筆者の主張の違いへとつながっていくのかについても考えることができると思われる。どちらの教材の方が説得力をもっているか考えさせることによってどういう表現の仕方や論理展開が説得力を生むことにつながるのかということについて深く考えさせたい。

- 本校では「協力し合い、主体的に活動しようとする生徒の育成～基礎・基本の定着をはかり思考力・表現力を育成するための授業改善を通して～」という研究主題のもとグループ学習を授業の中核に据えた取組を行っている。学び合いを通し、表現力や協同性を身に付けることで主体的に課題を解決する力を身に付けさせたいと考えているためである。学び合い活動は4名(男子2名、女子2名)のグループを基本に行っている。

本単元でも二つの評論文を読み比べ、気づいたことをグループで発表し合う活動をさせたいと考えている。評論文を

読んで説得力があると感じるポイントはさまざまであり、他者がどのようなところに説得力を感じているのかを伝え合う場にしたい。他者の考えを聞き取り、判断するなかで自分の考えを広げ、自分の考えをもつことへとつなげたいと考える。

また、国語科の指導内容は系統的・段階的に上の学年につながっていき、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、能力の定着を図ることを基本としている。そのために重点を置くべき指導内容を明確にし、系統立てて指導することが必要だと考えている。本単元で補助教材として取り上げた「イースター島にはなぜ森林がないのか」という教材は小学校6年生のときに既に学習している内容である。この時期に読み直すことにより、既習事項を想起するだけでなく、小学校の学習に新たな学習が積み重なるものになるよう指導したい。

6. 単元の指導計画と評価計画(全7時間)

時	目標	主な学習活動	評価			
			国語	読む	言語	評価規準 (評価方法)
1	二つの説明文を読み、類似点と相違点について考える。	①学習のねらいと言語活動の内容を示し、学習に見通しをもつ。 ②二つの説明文を読む。 ③類似点と相違点について考える。	○			【国】本文を読み、類似点と相違点を理解しようと努めている。(ノート)
2	説得力のある文章とはどんなものか考える。	①筆者の主張の似ているところと違うところについて考える。 ②「タイトル」「表現」「具体例」「主張への流れ」の四つの視点から作品を読んだとき、どんな文章に説得力が生まれるか考える。		○		【読】四つの視点から説得力のある文章とはどんなものか考えている。 (ワークシート①)
3	それぞれの作品を二つの視点から考察する。	それぞれの作品について「タイトル」「表現」の視点から考える。		○	○	【読】二つの視点から本文を読み、その効果について理解している。(ワークシート②) 【言】文章の構成に注意して文章を読んでいる。(ノート)
4	それぞれの作品を二つの視点から考察する。	それぞれの作品について「具体例」「主張への流れ」の視点から考える。		○	○	【読】二つの視点から本文を読み、その効果について理解している。(ワークシート②) 【言】文章の構成に注意して文章を読んでいる。(ノート)
5	四つの視点について、二つの説明文を比較し、班の立場を決める。	①グループで四つの視点について整理する。 ②グループでどちらが説得力のある説明文か考え、根拠を付箋に書いて出し合う。 ③グループの考えをまとめ、班の立場を決める。	○	○		【国】グループで伝え合おうと努めている。(観察) 【読】二つの説明文を比較し特徴を理解している。(ワークシート②)
6 (本時)	どちらの説明文が説得力をもっているかについて、パネルディスカッションをする。	①四つの視点について、それぞれのグループの考えを発表する。 ②他のグループの考えを聞き、自分の考えをもつ。		○		【読】他のグループの考えを聞き、自分の考えをもつ。(ワークシート③)
7	説明文の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをもつ。	根拠を明らかにして、説得力のある説明文を選択する。		○		【読】根拠を明らかにして、説得力のある説明文を選択する。(ワークシート④)

7. 本時の学習(6時間目)

(1) 本時のねらい

説明文の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをもつことができる。

【読む能力】

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価(評価方法)
○授業記録を配り、学習課題と学習の流れを確認する。	・学習の目標、流れ、時間配分などを伝える。	
<p>《学習課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝えよう。(話す) ・他のグループの意見を聞き、根拠を明確にして自分の考えをもとう。(授業目標) 		
<p>《流れ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会と書記・記録は教師が務める。 ・パネリストが各班一人ずつ発表したあとにフロアも含めた意見交換をする。 (1つのテーマで発表者4名。) ・①「タイトル」②「表現」③「具体例」④「主張への流れ」の順に意見を述べる。 1項目につき時間は最大10分とする。 ・他のグループの意見を聞きながら、説得力があると思った考えについてワークシート③に書き込んでいく。 		
○テーマを確認する。	・「中学一年生に『自然と共生することが大切だ』という内容を伝えるのに最適な教材はどちらか。」というテーマを確認する。	
○パネルディスカッションをする。	・他のグループの意見を聞きながら、説得力のある考えについてワークシートに書き込んでいくように助言する。	
○評価グラフをワークシートに記入する。 ○本時の反省を授業記録に記入する。	・他のグループの意見を参考にしながら、ワークシートに10段階評価を書き入れ、評価グラフを作成するように助言する。	<p>【読む能力】</p> <p>他のグループの発表を聞き、根拠を明確にして自分の考えをもつことができる。 (ワークシート③)</p>

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	概ね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
読む能力	他のグループの発表を参考にだけでなく、筆者の目的や意図についても考え、根拠を明確にして自分の考えをもつことができている。	他のグループの発表を聞き、根拠を明確にして自分の考えをもつことができている。	ワークシートに書き込んだ他のグループの意見を参考にするように助言する。

(4) 研究の視点

- ・教師の支援は思考力を深めるために有効であったか。